

報道関係者様各位

平成 25 年 12 月 10 日

Big Data と Identity
－アイデンティティから考える、クラウド・ビッグデータ・モバイルの興隆－
『Japan Identity & Cloud Summit 2014』開催のお知らせ

大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 国立情報学研究所

情報・システム研究機構 国立情報学研究所(所長:喜連川優、以下 NII)は、一般社団法人 OpenID ファウンデーション・ジャパン(代表理事:八木晃二、「以下、OIDF-J」と共催で、2014 年 1 月 14 日(火)・15 日(水)の 2 日間、学術総合センター(東京都千代田区一ツ橋)で「Japan Identity & Cloud Summit 2014 (以下、JICS2014)」を開催します。

JICS2014 の開催テーマは、“Big Data と Identity －アイデンティティから考えるクラウド・ビッグデータ・モバイルの興隆－”と題し、クラウド・セキュリティや、ビッグデータ・ビジネス、デジタル・アイデンティティ、Web API、プライバシーといった各分野の関係者が一堂に会するカンファレンスになります。

■開催趣旨

ソーシャルネットワークやスマートフォンの爆発的な普及に伴う新たなプライバシー問題や、消費者の個人データの分析を企業が行うビッグデータ・ビジネスが興隆する中、「クラウド」「ビッグデータ」「モバイル」「ソーシャル Web」といった潮流において“アイデンティティ”が重要視され始めています。

また 2013 年 6 月に日本政府より「世界最先端 IT 国家創造宣言^{※1}」が策定され、医療 IT や番号制度などに対して、パーソナルデータを取り扱うためのインターネット上のインフラ整備が必要と発表されました。

JICS2014 では、「今なぜアイデンティティなのか?」から始まり、「どう活用していくのか?」「今後どうなるのか?」をビジネス面だけでなく、技術とポリシーの両面から議論し、来場者の皆様と共有いたします。

NII が主体となって進める事業「学術認証フェデレーション(学認)」について取り上げる学認シンポジウムでは、今後の大学 ICT インフラを構築・提供していく上で必見のセッションを 2 日間に渡って開催します。学認導入を検討している方を対象とした大学 ICT 基盤・統合認証のイロハから、アカデミッククラウドと認証、相互信頼の仕組み、大学図書館での学認利用、ReaD&Researchmap での学認活用など幅広い話題を展開します。

※1:「世界最先端 IT 国家創造宣言」(2013 年 6 月) <http://www.kantei.go.jp/jp/singi/it2/dai61/siryou2-1.pdf>

医療 IT やビッグデータ、番号制度などに対して、パーソナルデータを取り扱うための、インターネット上のインフラ整備が必要 ・サイバーセキュリティ、サイバー空間上の防衛、国家安全保障問題なども深く関係 ・工程表では「ID 連携トラストフレームワーク」を構築と宣言 (総務省・経済産業省を中心に、2018 年までに)



■開催概要

名称: Japan Identity & Cloud Summit 2014
会期: 2014年1月14日(火)10:30-18:00 15日(水)10:00-18:05
会場: 学術総合センター 一橋講堂 他
 〒101-8430 東京都千代田区一ツ橋 2-1-2
主催: 国立情報学研究所 / 一般社団法人 OpenID ファウンデーション・ジャパン
協賛: Ping Identity Corporation / ノーサレンダー株式会社
協力: カンターラ・イニシアチブ・ジャパン
入場: 無料(但し、情報交換会は別途参加費必要)
公式サイト: <https://jics.nii.ac.jp>
来場者数: 1,000人 (JICS2013は述べ733人)

■講演情報(一部)

JICS 2014は、エンタープライズからコンシューマー、アカデミック、ガバメントまで、幅広い業界をカバーする一方で、個々のセッションは、初心者の方から、専門家の方にまで有意義で非常に濃い内容のものを予定しています。

【基調セッション】



佐々木 俊尚氏 (作家・ジャーナリスト)

「レイヤー化する世界とデジタル・アイデンティティ」

情報技術の革新は、メディアや産業の構造を根本から変え、超国家企業を生んで労働とグローバル化を加速しています。プラットフォームと呼ばれるインターネット 企業が権力化するなか、個人もまた生き方の変容を迫られています。近著「レイヤー化する世界」に書かれた内容を振り返りながら、近代国家の成り立ちと、レイヤー化された複数の「場」で、個人がデジタル・アイデンティティを確立していく現代社会の様相についてお話しします。

【基調セッション】



谷脇 康彦氏 (内閣審議官 兼 内閣官房情報セキュリティセンター 副センター長)

「ID 連携の必要性和セキュリティ」

日本政府が目指す「世界最先端のIT国家」には、それにふさわしい安全なサイバー空間を実現しなければいけません。本講演では、まず、JICS2014のメインテーマでもある、ビッグデータにおけるパーソナルデータ活用のルール作りについて、官民連携も視野に入れたマイナンバー制度とも比較しながら考察します。さらに、その際に必要となるIDトラストフレームワークに関する制度設計や、これを実現するためのセキュリティ技術についても議論を展開します。

【その他のセッションプログラム】

・イントロダクション・トラック

ビッグデータ、クラウド、モバイル、ソーシャルなどの最新トレンドをお話しつつ、それらとアイデンティティやプライバシーがどう関係するのかを解説

・エンタープライズ・トラック

セキュリティ、ガバナンス、生産性向上に寄与する企業の ID 管理システムの成功事例やトレンド、クラウド時代の ID 連携システムや認証・認可サービスの在り方について解説

・パーソナルデータ・トラック

セキュリティ、ガバナンス、生産性向上に寄与する企業の ID 管理システムの成功事例やトレンド、クラウド時代の ID 連携システムや認証・認可サービスの在り方について解説

・ガバメント&ポリシー・トラック

電子政府先進国のデジタル・アイデンティティ政策、プライバシー政策や、パーソナルデータの利活用や利用者の同意に関するポリシー、フレームワークに関する国際標準化動向について

・アカデミック・トラック(学認シンポジウム)

学術認証フェデレーションの最新の事例、研究成果、トラストフレームワーク普及のための活動状況について紹介

・テクノロジー・トラック(OpenID Summit)

OAuth 2.0、OpenID Connect から SCIM まで Web アイデンティティに関する標準技術や、匿名化・非識別化やプライバシー強化に関する技術動向のイロハを学ぶ

・セキュリティ・トラック

ID 漏洩防止や発生時の対処、消費者や従業員のプライバシー保護に関して、どのような対策が取られるべきか、具体的なケーススタディを用いて紹介

<<報道に関する問い合わせ先>>

国立情報学研究所 総務部企画課 広報チーム(担当:坂内)

〒101-8430 東京都千代田区一ツ橋 2-1-2

TEL:03-4212-2164 E-mail:kouhou@nii.ac.jp